

ふるさと再発見 第7回

Re:discovery Omihachiman

祝 西国巡礼札所長命寺・観音正寺が日本遺産に認定



上：長命寺 下：観音正寺

5月20日、「1300年つづく日本終活の旅」西国三十三所観音巡礼」が日本遺産に認定されました。市内では長命寺と観音正寺の2カ寺が含まれ、長命寺は平成27年の「琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産―」に続き、二度目の認定です。西国三十三所観音巡礼は、

1300年の歴史を持つ日本最古の巡礼路とされています。その距離は1000キロにおよび、滋賀県を含む2府5県にまたがります。観音様が三十三の化身を通じて人々を救うことにちなみ、三十三箇所の札所をめぐるもので、長命寺は三十一番札所、観音正寺は三十二番札所

にあたります。

元々は行者や僧侶の修験の道であった西国三十三所観音巡礼ですが、江戸時代に入ると、お伊勢参りなどと一緒に、庶民が巡る参詣の道としても親しまれました。市内に残る道標に、「長命寺」や「観音寺」を導くものも多く残るのも、巡礼を楽しむ旅人が市域を数多く通行した証といえるでしょう。例えば、金剛寺町に残る道標には、東方向へは誘う面に「すく(ぐ)くハんおんし(観音寺)・浄こんいん(厳院) ちかみち」、北方向へ誘う面に「左八まん・長命寺みち」と刻まれています。

今回の認定テーマにある「終活」とは人生の終わりに向け整理することではなく、人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるかを考えることを意味します。長命寺と観音正寺の間は約15キロ。人生の送り方を考えながら、市内に残る巡礼路を旅してみませんか。

認定を受けて

平成27年の「琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産」に続き、今回も日本遺産に認定いただき、大変光栄に思っております。皆さまが、日本最古の巡礼路といわれる「西国三十三所観音巡礼」をお巡りいただくことにより、心豊かな日々が送られることをお祈り申し上げます。

西国第三十一番札所 長命寺

住職 武内隆韶

新元号に改元されました令和元年5月20日、「西国三十三所観音巡礼」が日本遺産に認定されましたこと大変嬉しく思っております。これも1300年の歴史と古来より日本仏教の宗派を超えて日本人の心の拠り所とされ、多くの方々が巡礼された様々な心の足跡のお陰とっております。私も日本最古の巡礼文化と観音信仰が、後の世にも日本人の心に受け継がれていくことに日々精進してまいります。

西国第三十二番札所 観音正寺

山主 岡村遍導

人口と世帯 令和元年6月1日現在 ()は前月比

総数 82,116人(+26)
男 40,378人(-3)
女 41,738人(+29)
世帯 33,788世帯(+23)

※外国籍住民(37カ国・地域/1,474人)を含みます。

テレビ画面で広報紙

びわ湖放送にチャンネルを合わせ



リモコンのdボタンを押し!

Facebook



YouTube



マチイロ



マイ広報紙



広報おうみはちまんは、各自治会を通じてお届けします。また、各学区コミュニティセンターや図書館などの公共施設、郵便局、金融機関、セブン-イレブン・ファミリーマート各店舗などで配布しているほか、市ホームページやマチイロ、マイ広報紙などでもご覧いただけます。

